

審議会等の会議結果報告

1 会議名	令和5年度第4回津市入札等監視委員会
2 開催日時	令和6年2月6日(火) 午前10時00分から午前10時50分まで
3 開催場所	本庁舎4階庁議室
4 出席した者の氏名	(津市入札等監視委員会委員) 西川源誌、小川友香、奥島要人、山下謙一郎 (事務局) 総務部長 奥田寛次 総務部次長 稲垣篤哉 総務部調達契約担当参事(兼)調達契約課長 川出浩也 調達契約課工事契約担当主幹 柿木伸介 調達契約課工事契約担当副主幹 井原崇視 調達契約課主査 熊本尚弥 上下水道管理局長 内田博久 上下水道管理局次長 織田充彦 上下水道管理課長 谷口弘明 上下水道管理課契約財産担当主幹 岩城孝 上下水道管理課主査 土田朱音 下水道工務担当参事(兼)下水道工務課長 長谷和哉 建設整備課長 水谷誠 市営住宅課維持担当副参事 丹羽啓一郎
5 内容	(1) 入札・契約に関する報告について 入札及び契約手続の運用状況 (2) 入札等監視業務について 入札・契約抽出事案の審議 (3) その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	0人
8 担当	総務部調達契約課工事契約担当 電話番号 059-229-3122 E-mail 229-3121@city.tsu.lg.jp

議事の内容 別紙のとおり

1 入札・契約に関する報告について

(1) 入札及び契約手続の運用状況

(委員)

Q 防水修繕4件について、参加者数は5者となっていますが、4件とも入札参加者は同じだったのでしょうか。また、入札に参加可能な業者数を教えてください。

(事務局)

A 4件とも同じ業者が入札に参加しています。また、参加可能な業者数は31者です。

(委員)

Q 4件とも同じ落札業者ですが、その理由について事務局はどのように分析されていますか。

(事務局)

A 4件の修繕は最低制限価格を設定していませんので、各業者が最低制限価格と同額を入札し、くじ引きになるということは起こりません。落札者が他の4者より低い価格で入札した結果です。

(委員)

Q 落札者と他の4者の価格差はどのくらいあるのでしょうか。

(事務局)

A 津市市営西城山アパート屋上防水修繕の場合、税抜き金額ですが、落札者が318万円、2番手以降は385万円、390万円、401万円、406万4千円となっています。他の案件も同様の傾向で、落札者と2番手の差は数十万円程度となります。

(委員)

Q 4件の防水修繕は同日に開札されているとのことですが、修繕であっても工事の場合と同様に技術者の配置要件は設定されていますか。

(事務局)

A 工事と同様に技術者の配置要件を設定しており、1件の修繕につき1人の技術者の配置が必要となりますので、これら4件は別々の技術者が配置されています。

(2) 指名停止措置等の運用状況

質疑無し

2 入札等監視業務について

入札・契約抽出事案の審議

(1) 津興橋大規模更新事業橋梁（上部工）架設等工事

（委員）

Q 入札価格が税抜きで5億1千万円で価格点は79.45021点、4億8,339万円で価格点は80点という結果になっていますが、計算方法について教えてください。

（事務局）

A 本件は、落札業者が最低制限価格と同じ方法で算出した低入札価格調査基準価格に近い金額で入札し、宇野重工（株）が失格基準価格と同額で入札しています。価格点の差は0.55点程度です。これは、価格点の算出は入札価格が低入札価格調査基準価格を境に算式は異なり、低入札価格調査基準価格を下回る入札については、価格点が伸びにくくなっている計算式を採用しているためです。

なお、このような計算式を用いる理由は、高い価格点を得るために通常の入札では失格基準価格に近い金額で入札することはダンピング受注防止の観点から望ましいことではないため、価格点が伸びにくい算式を設定し、過度な価格競争にならないようにしたものです。

しかし、現在の計算式では仮に予定価格と同額で入札した場合の価格点は約71.4点であるため、価格点は71.4点から80点の間となり、実質的には価格点が8.6点と価格以外の評価点20点の配点となっている現状がありますので、配点の認定方法等は他市の事例等を研究していきたいと考えています。

（委員）

Q 工事成績点と工事实績点の算出方法について教えてください。

（事務局）

A 工事成績点については、直近3件の工事成績の平均点を抽出案件資料に記載の計算式に当てはめて算出したものです。工事实績については、同種・同規模工事の元請実績件数を資料に記載の計算式に当てはめて算出したものです。

（委員）

Q 本件を工事成績重視型で発注した理由を教えてください。

（事務局）

A 本工事は大型で高い技術力が必要な工事ではありますが、橋梁の工場製作がメインであり、技術的な工夫の余地が小さいことから、過去の同種工事の工事成績や施工実績等を指標に本工事の品質を確保する工事成績重視型で発注しました。

(委員)

Q 天神第2雨水幹線築造工事の評価項目と比較しての質問ですが、「他工事の受注状況」の評価項目を削ったのはなぜですか。

(事務局)

A 天神第2雨水幹線築造工事は市内本店業者のみを対象とした案件ですが、本工事は市外業者も対象となります。手持ち工事量は受注の偏りをなくすこと、企業の技術者数に対して受注件数が多くなりすぎないようにすることを目的として、市内本店業者のみが対象となる工事について設定したものです。市外業者を対象とする工事は、毎年発注するような工事ではないため、受注の偏りが起こらないこと、規模の大きな市外業者は技術者の数が多く、本市の工事を1件受注したとしても受注件数が多くなりすぎることではないことから、市外業者も対象とした総合評価落札方式の評価項目からは削除しました。

(委員)

Q 入札参加者が2者しかいませんが、参加業者を増やすことはできなかったのでしょうか。

(事務局)

A 結果として応札は2者でしたが、入札参加条件を満たす業者は少なくとも16者いることを確認しており、競争性は確保したものと考えます。なお、本市に限らず三重県内の同業種の同規模工事においても参加者は少ない状況となっています。

(委員)

Q 参加資格要件で経営事項審査の1,000点以上となっていますが、1,000点に根拠はあるのでしょうか。それとも案件ごとに個別に設定しているのでしょうか。

(事務局)

A 本市では、経営事項審査の総合評定値を求める条件付一般競争入札については、国交省の通知を参考に、一般土木工事及び建築工事では1,200点、電気設備工事及び暖冷房衛生設備工事は1,100点、それ以外の工事は1,000点として運用しています。

(委員)

Q 統一された基準は決まっておらず、案件ごとに設定していないということでしょうか。

(事務局)

A 案件ごとに設定しているのではなく国の通知等を参考に運用の基準を本市においてあらかじめ設定しています。状況に変化があれば運用基準そのものを見直すこととなります。

(委員)

Q 総合評定値が1,200点の業者と1,000点の業者というのはどのような違いがあるのでしょうか。

(事務局)

A 総合評定値は技術者数や完成工事高、経営状況等に算出されており、規模が大きい業者ほど高い点数になる傾向があります。参考として本市の土木業者で言いますと、格付A1で最も総合評定値が高い業者が1200点ぐらいで、2番手が1,000点以上といった状況です。

(委員)

Q 価格評価点の算式が2種類あるとのことですが、この算式は国土交通省等から示されたものなのでしょうか。

(事務局)

A 価格点の算式について示されたものはございませんが、三重県や近隣自治体の算式を参考にしながら決定しています。

(事務局)

A 価格点の配点や評価項目については自治体ごとの考え方があるため、決まった配点や評価項目はありません。ただし、配点や評価項目については、第三者からなる三重県公共工事等総合評価意見聴取会に諮っており、透明性・公平性を確保するよう努めています。

(委員)

Q 本工事は、工事成績や工事实績の差で業者が決まっていますが、このような配点とした意図を教えてください。

(事務局)

A 本工事は工事成績点と工事实績点の合計で7点あり、市内本店業者を対象とした案件に比べ、履行の確保をより重視した配点としたものです。

(事務局)

A なお、落札業者は市内に工場を有することから、市内支店業者等として0.5点の加点をしており、地元業者を優先する評価項目もございます。

※ 本件については、適正に処理されているものと認める。

(2) 津市市営高洲住宅（14－8ほか5戸）屋根塗装替修繕

(委員)

Q 本修繕は参加者が2者と少なく、落札率も高くなっています。この結果になったことについて、事務局はどのように分析していますか。

(事務局)

A 本修繕に参加可能な業者数は52者いますが、本修繕は入居中の住宅塗装であり、一般的な公共施設の塗装に比べ調整が困難であることから、

多くの業者が参加を見送ったのではないかと考えています。

落札率が高い原因については高洲住宅は毎年数件ずつ塗装修繕を行っていますが、毎年落札率が高い状況が続いており、過去の落札率を参考にしながら今回の入札額を決めているのではないかと考えています。

抽出案件ではありませんが、大井住宅の塗装修繕についても同様の傾向があり、入居者との調整がネックになっているものと考えます。仮にこれらの案件の入札参加者を市外に広げたとしても、入居者との調整がネックになることには変わりなく、参加者が増えることはないと考えています。
(事務局)

A 市内で5 2 者の業者が参加可能であっても応札者が2 者のみということとは、現場に精通しているかどうかというのが影響しているのではないかと推測しています。

(委員)

Q 過去の同じ住宅の修繕で、今年度の落札業者以外に何者程度が落札していますか。

(事務局)

A 高洲住宅は落札業者のほかには1 者、大井住宅は落札業者のほかには4 者となっています。

(委員)

施工にあたっては住民との人間関係が重要になってくるので地元で精通している業者でないと参加をためらってしまうということなんですね。

※ 本件については、適正に処理されているものと認める。

(3) 天神第2 雨水幹線築造工事

(委員)

Q 参加者全員が(低入札価格調査基準価格と)同額での応札となったことについて、事務局はどのように分析されていますか。

(事務局)

A 本件のような高額な工事は業者の受注意欲が高く、入札結果からみても、参加者のいずれもが低入札価格調査基準価格を狙った結果、低入札価格調査基準価格における全者同額での応札になりました。

また、全者が低入札価格調査基準価格を読み当てられたことについては、発注時において、積算における詳細な情報が掲載されている工事費積算参考資料を公開しているため、業者にとって、予定価格の高低に係わらず、低入札価格調査基準価格を精密に予測することが可能な状況であることが要因であると考えております。

(委員)

Q 参加業者以外で、落札者と同程度の工事成績を有する業者はどのくらいいるのでしょうか。

(事務局)

A 落札者と同程度の工事成績を有する業者について、最高点数である4点を得ることのできる平均点8.3点以上を有する業者として回答させていただきます。工事成績に係る評価点は資料に示すように算出しており、本工事への参加資格があった業者は土木一式の格付がA1・A2である51者のうち平均点が8.3点以上となる業者は参加業者である落札者のアイケーディ及び当該入札参加者の東海土建の2者のみで、参加業者以外にはありませんでした。

(委員)

Q 本工事を「工事成績重視型」で発注した理由を教えてください。

(事務局)

A 本工事は幅員4m未満の狭隘道路で地下水位も高く施工条件が悪いなかでの施工で、地下水位をコントロールしながら掘削し、内径幅2.3m高さ1.5m及び内径幅1.8m高さ1.5mのプレキャストボックスなどを築造する工事です。

本工事においては、高い工事品質を確保するため、同種同規模工事における施工実績や高い技術力の下、発注者が示す仕様に基づいた適切かつ確実な施工が求められますが、本工事は標準的な工法で施工されるものであり、工法的には難易度の高い内容ではないことから、技術提案ではなく工事成績重視型を採用し発注を行ったものです。

(委員)

Q 価格以外の評価点の内訳において、(株)アイケーディと東海土建(株)は工事成績点数が4点をとっています。配置予定技術者の工事成績点数や工事实績点数についても、同じように高い点数をとれるのではないかと思うのですが、東海土建(株)が業者としての工事成績点数や工事实績件数に比べて配置予定技術者の工事成績点数や工事实績点数で0点となっているのはどういうことなのでしょうか。

(事務局)

A その業者において高い工事成績点数や実績をもっている技術者が、他工事に配置されているなどの理由で、本工事にはその技術者を配置することはできないが、本工事を受注したいということで津市においての過去5年の土木工事の成績点数と下水道工事の実績がない技術者を配置予定としてきたためと考えています。

※ 本件については、適正に処理されているものと認める。

条件付一般競争入札

抽出案件①

件名	令和5年度建整橋維補継第1号 津興橋大規模更新事業橋梁(上部工)架設等工事
落札者	JFEエンジニアリング株式会社 名古屋支店
業種(格付)	鋼構造物
施工場所	津市津興ほか2町地内
工期	令和5年12月20日から令和7年7月21日(契約締結の日から起算して580日間)
	工場製作工(鋼4径間連続非合成鈹桁橋)一式 鋼橋架設工 一式 RC床版工 一式 舗装工 1,820m ²
入札方法	条件付一般競争入札(総合評価落札方式)
入札日時	令和5年11月6日 午前9時00分
入札参加資格要件	<p>①地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者</p> <p>②津市建設工事等条件付一般競争入札実施要領(平成18年1月1日施行。以下「要領」といいます。)第4条第1項に掲げる要件を備えている者</p> <p>③要領第4条第2項各号の一に該当しない者</p> <p>④民事再生法(平成11年法律第225号)に基づく再生手続開始の申立て、会社更生法(平成14年法律第154号)に基づく更生手続開始の申立て、破産法(平成16年法律第75号)に基づく破産手続開始の申立て、会社法(平成17年法律第86号)に基づく清算の開始又は会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成17年法律第87号)第64条の規定による改正前の商法(明治32年法律第48号)に基づく整理開始の申立て若しくは通告がなされていない者であること。ただし、民事再生法に基づく再生手続開始の申立て又は会社更生法に基づく更生手続開始の申立てがなされた者であって、手続開始決定の日を基準日とする経営事項審査(その日以後迎えた決算日を基準日とする経営事項審査を受けている場合にあつては、当該経営事項審査)の結果に基づき、建設工事について入札参加資格を認められ、かつ、再生計画又は更生計画が認可された者を除きます。</p> <p>⑤津市競争入札参加資格者名簿において鋼構造物工事を希望業種として掲載されている者</p> <p>⑥建設業法(昭和24年法律第100号)第3条に規定する特定建設業の許可(鋼構造物工事業)を受けている者</p> <p>⑦三重県、愛知県又は岐阜県内に本店又は支店若しくは営業所等(建設工事の請負契約を締結する権限を有する者が常駐している事務所をいう。)を有する者</p> <p>⑧審査基準日が令和3年10月1日から令和4年9月30日までの経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書に記載の鋼構造物工事業の総合評定値が、1000点以上の者</p> <p>⑨鋼橋梁製作のための自社工場を有する者</p> <p>⑩官公庁等で発注され、過去10年間(平成25年度以降)に施工が完了した、下記の工事の元請実績を有する者(共同企業体による工事の場合は、代表構成員としての実績に限る。)施工橋長109m以上かつ幅員13m以上の鋼橋(道路橋)で桁の製作及び架設を含む鋼橋上部工工事</p> <p>⑪本件工事に、1級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であり、鋼構造物工事業の監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する監理技術者を専任で配置できること。ただし、監理技術者の職務を補佐する者として建設業法第26条第3項ただし書に規定する者を当該施工現場に専任で配置するときは、専任であることを要しません。この場合の監理技術者が兼任できる施工現場の数は2とします。(専任で配置予定の技術者を施工中の他の工事に配置している場合は、本契約の締結の日時点で他の工事の完成検査が終了していることとし、兼任で配置予定の技術者を施工中の他の工事に配置している場合は、本契約の締結の日時点で完成検査が終了していない施工現場の数が1以下であること。また、工場製作期間と現地施工期間で異なる監理技術者を配置する場合で、本工事着手時に配置する監理技術者が工場製作期間に配置する監理技術者のときは、現地施工期間に配置する監理技術者は、現場が工場から現地に移行する時点で配置できる状況にあること。</p> <p>⑫上記⑪に掲げる者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (本件入札に係る入札参加申込書の提出日において連続3か月以上直接的な雇用関係にあるものに限りません。)</p>

令和5年度建整橋維補継第1号
津興橋大規模更新事業橋梁(上部工)架設等工事

予 定 価 格	564,631,000	円(消費税等相当額を除く)
低入札価格調査基準価格	509,240,000	円(消費税等相当額を除く)
重点調査基準価格	493,960,000	円(消費税等相当額を除く)
失格基準価格	483,390,000	円(消費税等相当額を除く)

〔入札者別の入札金額〕

	入 札 者	入札金額 (円)	価格 評価点	価格以外の 評価点	総合評価点	備考
1	JFEエンジニアリング(株) 名古屋支店	510,000,000	79.45021	14.6	94.05021	落札決定
2	宇野重工(株)	483,390,000	80.00000	9.6	89.60000	

〔価格以外の評価点内訳〕

	業者名	工事成績 点数	工事实績 件数	社会貢献	地域精通度及び地域貢献度		配置予定技術者				その他	合計
				障がい者雇 用及び労働 安全衛生マ ネジメント	本店等 所在地	市内本店 業者施工率	工事 成績点	工事 実績数	CPD	若年技術 者の配置	建設キャリア アップシステム	
1	JFEエンジニアリング(株) 名古屋支店	4	3	0.5	0.5	0	3.6	1	1	0	1	14.6
2	宇野重工(株)	2.3	0.3	0.5	0	0.3	3.2	0	1	1	1	9.6

評価項目【工事成績重視型】

津興橋大規模更新事業橋梁(上部工)架設等工事

評価項目(20点満点)	評価の内容	評価基準	配点
工事成績 (4点)	過去5年間に於いて施工が完了した当該業種の工事のうち、直近3件の工事成績平均点:a	83点以上	4
		73点超83点未満	(4/10)a-29.2
		73点以下(実績なしを含む)	0
工事実績 (3点)	過去10年間に於いて施工が完了した工事のうち、当該工事と同種・同規模工事の元請実績件数:b	10件以上	3
		1件以上10件未満	(3/10)b
		実績なし	0
社会貢献 (0.5点)	①障がい者雇用の実績の有無及び ②労働安全衛生マネジメント認証の有無	2項目とも有	0.5
		上記以外	0
地域精通度及び 地域貢献度 (2.5点)	本店等所在地	市内本店業者	1
		市内支店業者等	0.5
		上記以外	0
	市内本店業者施工率(%)	80%以上	1.5
		60%以上80%未満	1.2
		40%以上60%未満	0.9
		20%以上40%未満	0.6
		10%以上20%未満	0.3
10%未満	0		
配置予定技術者 (9点)	過去5年間に於いて施工が完了した工事 で、当該配置予定技術者を配置した当該業種の工事のうち、直近3件の工事成績平均点:c	83点以上	4
		73点超83点未満	(4/10)c-29.2
		73点以下(実績なしを含む)	0
	過去10年間に於いて施工が完了した工事のうち、当該配置予定技術者を配置した同種・同規模工事の施工実績件数	3件以上	3
		2件	2
		1件	1
		実績なし	0
	過去1年間のCPDの取得単位数 (新型コロナウイルスによる特例あり。備考欄参照)	単年度の推奨単位数以上	1
		単年度の推奨単位の1/2以上	0.5
		上記以外	0
	若年技術者(45歳以下)の配置	45歳以下	1
46歳以上		0	
その他 (1点)	建設キャリアアップシステム 登録・運用	当該工事で運用する	1
		事業者登録あり	0.5
		事業者登録なし	0

事後審査型条件付一般競争入札

抽出案件②

公告日	令和5年11月27日	工事担当課	市営住宅課	
工事名	令和5年度住第2-3号 津市市営高洲住宅(14-8ほか5戸)屋根塗装替修繕			
工事場所	津市 高洲町	地内		
工事概要	修繕 (塗裝修繕) ※上記に係る塗裝修繕 一式			
工期	契約締結の日から 令和6年3月12日 まで			
発注業種	塗装			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	あり		
	地域・格付要件	【ブロック】津・香良洲	【地区】津・香良洲	【格付】A1・A2
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
	同種工事実績要件			
	技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の技術者(実務経験)以上の者(本市発注工事における専任配置)	
		現場代理人	常駐配置(主任技術者と兼務可)	
	その他要件			
設計図書の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 令和5年12月8日 まで		
	閲覧場所	調達契約課・津市ホームページ「入札・契約」		
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 令和5年12月8日 まで		
	販売店	アサヒ感光社 津市半田141 TEL059-226-5214		
設計図書等に関する質問	提出期限	令和5年11月30日 午後5時 まで(指定の質問書を使用すること)		
	回答日	令和5年12月5日 ホームページにて回答		
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) FAX 059-229-3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提出期限	令和5年12月8日 必着		
	郵送先	〒514-8799 日本郵便(株)津中央郵便局 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時及び場所	令和5年12月13日 午前10時50分 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予定価格	8,454,000 円 (税抜き)			
最低制限価格	無			
入札保証金	免除			
契約保証金	契約金額の100分の10以上			
前金払	有			
部分払	無			
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 ※本市発注工事とは調達契約課又は上下水道管理課発注工事で、担当課執行分を除く。			

令和5年度住第2-3号

津市市営高洲住宅(14-8ほか5戸)屋根塗装替修繕

予 定 価 格

8,454,000 円(消費税等相当額を除く)

[入札者別の入札金額]

下記入札金額に1.1を乗じた金額が申込価格である。 (単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	山口工業(株)	8,400,000	落札決定
2	(有)ダイシン	8,450,000	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

【総合評価落札方式】事後審査型条件付一般競争入札

抽出案件③

公告日	令和5年9月4日	工事担当課	下水道工務課	
工事名	令和5年度下工公補第14号 天神第2雨水幹線築造工事			
工事場所	津市 高茶屋小森上野町	地内		
工事概要	プレキャストカルバート工(2300×1500) 1m プレキャストカルバート工(1800×1500) 34m 水路築造工 183m 組立マンホール工 2箇所			
工期	契約締結の日から 令和6年2月29日 まで			
発注業種	土木一式			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	A1・A2		
	地域・格付要件	【ブロック】	【地区】	【格付】
	技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の監理技術者(専任配置。ただし監理技術者補佐を専任で配置するときはこの限りでない。)	
		現場代理人	常駐配置(専任の監理技術者又は監理技術者補佐と兼務可)	
	その他要件			
総合評価落札方式に関する事項	総合評価方式の種類	工事成績重視型(津市建設工事総合評価落札方式試行要領第3条第2号)		
	評価項目、評価の内容、配点	別紙「総合評価落札方式評価項目一覧」のとおり		
	総合評価点の算出	加算方式： 総合評価点＝価格点(80点満点)＋価格以外の評価点(20点満点) 価格点の算出方法は以下のとおりとする。 ア. 入札価格>低入札価格調査基準価格の場合 価格点＝80点×失格基準価格÷{失格基準価格＋(低入札価格調査基準価格－失格基準価格)／10＋(入札価格－低入札価格調査基準価格)} イ. 入札価格≤低入札価格調査基準価格の場合 価格点＝80点×失格基準価格÷{失格基準価格＋(入札価格－失格基準価格)／10}		
	評価方法及び落札者決定方法	入札が無効でない者のうち、予定価格の範囲内で失格基準価格以上の者について総合評価点を算出する。総合評価点が最も高い者を落札候補者とし、総合評価点が最も高い者が複数ある場合は、開札立会人によるくじ引きにより決定するものとする。		
	【提出資料】 評価項目算定資料	・評価項目算定資料届出書【第1号様式】		
		・施工実績評価資料【第5号様式】 ・同種・同規模工事の元請実績について確認できる書類(コリンズ、設計書内訳表等の写し)【添付資料】		
		・社会貢献に関する資料(障がい者雇用状況報告書等の写し及び労働安全衛生マネジメント認証等の写し)【添付資料】		
・市内本店業者施工率評価資料【別紙様式】				
・手持ち工事量評価資料【別紙様式】 ・手持ち工事に係るコリンズ登録の写し及び経営規模等評価結果通知書の写し【添付資料】				
・配置予定技術者評価資料【第6号様式】 ・配置予定技術者に係る同種・同規模工事の実績について確認できる書類(コリンズ、設計内訳表等の写し)【添付資料】				

		・配置予定技術者の保有する資格証(監理技術者資格者証)の写し【添付資料】
		・建設系CPD協議会加盟団体(建築関係業種については建築CPD運営会議の加盟団体を含む)が発行した学習履歴証明書等の写し【添付資料】
		・建設キャリアアップシステム評価資料【別紙様式】 ・事業者IDの写し等【添付資料】
	価格以外の評価点の公表(審査結果)	令和5年9月28日 津市HP「入札・契約」にて公表
	審査結果照会	令和5年10月2日 までに自らの審査結果について書面により照会することができる。 照会対象項目は、価格点以外の評価項目すべてとする。
評価項目算定資料の提出方法	提出方法	持参に限る
	提出期限	令和5年9月25日 午後5時 ※期限を過ぎての提出は受け付けません。
	提出先	上下水道管理課契約財産担当(津市上下水道庁舎2階)
設計図書 の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 令和5年9月25日 まで
	閲覧場所	上下水道管理課・津市ホームページ「入札・契約」
設計図書 の購入	購入期間	本公告の日から 令和5年9月25日 まで
	販売店	(有)オグラ 津市大字垂水2870-20 TEL059-228-9811
設計図書 等 に関する 質問	提出期限	令和5年9月13日 午後5時 まで(指定の質問書を使用すること)
	回答日	令和5年9月20日 ホームページにて回答
	提出先	上下水道管理課契約財産担当(津市上下水道庁舎2階) FAX 059-237-5819
入札方法等	提出方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)
	提出期限	令和5年9月25日 必着
	郵送先	〒514-8799 日本郵便(株)津中央郵便局 留 津市上下水道管理局 上下水道管理課 宛
開札日時 及び場所	令和5年10月3日 午前9時00分 津市上下水道庁舎 2階 入札室	
予定価格	91,987,000 円 (税抜き)	
低入札価格 調査基準価格	有	本件は「津市低入札価格調査試行要領」の対象工事とする。 低入札価格調査基準価格を下回った入札を行った者が落札候補者となった場合においては、落札候補者の決定を保留し、「津市低入札価格調査試行要領」に規定する低入札価格調査を実施する。 低入札価格調査基準価格を下回った入札を行った者に対して本市から資料の提出及び事情聴取の協力の要請があった場合は、これに協力すること。 なお、低入札価格調査基準価格を下回って契約する場合、次の事項を適用する。 ・監理技術者の資格を有する専任の担当技術者を1名追加して工事現場に配置すること。 ・契約保証金を契約金額の100分の30以上の額とすること。 ・前払金を契約金額の100分の20以内の額とすること。
重点調査 基準価格	有	低入札価格調査基準価格を下回る入札のうち、重点的に低入札価格調査を実施する場合における基準価格として、重点調査基準価格を設定する。 重点調査基準価格は、低入札価格調査基準価格に100分の97を乗じて得た額(1万円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額)とする。
失格基準価格	有	失格基準価格未満の金額の入札は失格とする。 失格基準価格は、「津市低入札価格調査試行要領」別表第1の算出方法により算出した額(1万円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額)とする。 ただし、スクラップ評価額が計上されている場合は、「津市低入札価格調査試行要領」別表第1の算出方法により算出した額から、スクラップ評価額を控除した額(1万円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額)とする。
入札保証金	免除	
契約保証金	契約金額の100分の10以上	
前金払	有	

部分払	無
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項、津市建設工事総合評価落札方式試行要領、津市低入札価格調査試行要領のとおりとする。 ・ 配置予定技術者について、3ヶ月以上の雇用関係が継続していること。 ・ <u>低入札価格調査基準価格を下回った入札を行った者は、価格その他の条件が本市にとって最も有利なものをもって申込みをした者であっても落札者とならない場合があります。</u> ・ <u>低入札価格調査を経て契約する場合、津市公契約条例第6条の2第1項に規定する労働報酬下限額の適用案件となります。</u> <u>労働環境の確保に係る誓約事項及び令和5年度津市公契約条例労働報酬下限額運用マニュアルを必ず確認してください。</u>

令和5年度下工公補第14号
天神第2雨水幹線築造工事

予 定 価 格	91,987,000	円(消費税等相当額を除く)
低入札価格調査基準価格	81,520,000	円(消費税等相当額を除く)
重点調査基準価格	79,070,000	円(消費税等相当額を除く)
失格基準価格	76,770,000	円(消費税等相当額を除く)

〔入札者別の入札金額〕

	入 札 者	入札金額 (円)	価格 評価点	価格以外の 評価点	総合評価点	備考
1	(株)アイケーディ	81,520,000	79.50805	18.0	97.50805	落札決定
2	勢和建設(株)	81,520,000	79.50805	14.3	93.80805	
3	(株)ジェイエイ津安芸	81,520,000	79.50805	14.3	93.80805	
4	安濃建設(株)	81,520,000	79.50805	13.4	92.90805	
5	(有)小林組	81,520,000	79.50805	12.3	91.80805	
6	東海土建(株)	81,520,000	79.50805	12.1	91.60805	
7	(株)磯田土建	81,520,000	79.50805	10.9	90.40805	
8	(有)安芸土木	81,520,000	79.50805	7.0	86.50805	
9	(有)松村土木	81,520,000	79.50805	6.8	86.30805	

〔価格以外の評価点内訳〕

	業者名	工事成績 点数	工事实績 件数	社会貢献	地域精通度	他工事の受注状況		配置予定技術者				その他	合計
				障がい者雇 用及び労働 安全衛生マ ネジメント	市内本店 業者施工 率	手持ち 工事量	津市から 受注した 工事件数	工事 成績点	工事 実績数	CPD	若年技術 者の配置	建設キャリア アップシステム	
1	(株)アイケーディ	4	1	0.5	1.5	1.5	0.5	4	2	1	1	1	18
2	勢和建設(株)	2.3	2	0.5	1.5	1	0.5	2.5	2	1	0	1	14.3
3	(株)ジェイエイ津安芸	2.8	0.2	0	1.5	2	1	2.8	1	1	1	1	14.3
4	安濃建設(株)	2.1	2	0.5	1.5	1.5	0.5	1.8	1.5	1	0	1	13.4
5	(有)小林組	1.7	1	0.5	1.5	1.5	1	1.6	1.5	1	0	1	12.3
6	東海土建(株)	4	0.6	0.5	1.5	1.5	1	0	0	1	1	1	12.1
7	(株)磯田土建	0.8	0.6	0.5	1.5	2	1	1	1	1	1	0.5	10.9
8	(有)安芸土木	0.6	0.2	0	1.5	1.5	0.5	1.2	1	0	0	0.5	7
9	(有)松村土木	0.8	0.2	0	1.5	1.5	1	0.8	1	0	0	0	6.8

評価項目【工事成績重視型】

天神第2雨水幹線築造工事

評価項目(20点満点)	評価の内容		評価基準	配点
工事成績 (4点)	過去5年間に於いて津市から受注した、当該業種の工事成績平均点:a		83点以上	4
			73点超83点未満	(4/10)a-29.2
			73点以下 (実績なしを含む)	0
工事实績 (2点)	過去10年間に於いて官公庁等から受注した、当該工事と同種・同規模工事の元請実績件数:b		10件以上	2
			1件以上10件未満	(1/5)b
			実績なし	0
社会貢献 (0.5点)	①障がい者雇用の実績の有無及び ②労働安全衛生マネジメント認証の有無		2項目とも有	0.5
			上記以外	0
地域貢献 (1.5点)	市内本店業者施工率		90%以上	1.5
			80%以上90%未満	1
			80%未満	0
他工事の受注状況 (3点)	手持ち工事量 (2点満点)	契約中の公共工事件数と技術者数(1級+2級)との比率 ※契約金額2500万円以上	0	2
			$0 < J \leq 0.25$	1.5
			$0.25 < J \leq 0.5$	1
			$0.5 < J$	0
	当該年度に於いて津市から受注した当該業種の工事件数 ※契約金額2500万円以上		0件	1
			1件	0.5
			2件以上	0
配置予定技術者(8点)	過去5年間に於いて津市から受注した、配置予定主任(監理)技術者における当該業種の工事成績平均点:c		83点以上	4
			73点超83点未満	(4/10)c-29.2
			73点以下 (実績なしを含む)	0
	過去10年間に於いて官公庁等から受注した、配置予定主任(監理)技術者の同種・同規模工事の施工実績件数		3件以上	2
			2件	1.5
			1件	1
			実績なし	0
	過去1年間のCPDの取得単位数(新型コロナウイルスによる特例あり。備考欄参照)		単年度の推奨単位以上	1
			単年度の推奨単位の1/2以上	0.5
			上記以外	0
若年技術者(45歳以下)の配置		45歳以下	1	
		46歳以上	0	
その他 (1点)	建設キャリアアップシステム登録・運用		当該工事で運用する	1
			事業者登録あり	0.5
			事業者登録なし	0

津興橋大規模更新事業橋梁(上部工)架設等工事 価格点算出方法

<p>入札価格 > 低入札価格調査基準価格の場合</p> $\text{価格点} = 80 \times \frac{\text{失格価格}}{\text{失格価格} + (\text{低入札価格} - \text{失格価格}) / 10 + (\text{入札価格} - \text{低入札価格})}$ <p>入札価格 ≤ 低入札価格調査基準価格の場合</p> $\text{価格点} = 80 \times \frac{\text{失格価格}}{\text{失格価格} + (\text{入札価格} - \text{失格価格}) / 10}$	<p>※低入札価格…低入札価格調査基準価格 失格価格…失格基準価格</p>
--	---

各業者の入札価格、低入札価格調査基準価格、失格基準価格を算式に反映する

予 定 価 格	564,631,000	円(消費税等相当額を除く)
低入札価格調査基準価格	509,240,000	円(消費税等相当額を除く)
失格基準価格	483,390,000	円(消費税等相当額を除く)

1 JFEエンジニアリング(株) 名古屋支店

入札金額 510,000,000 円(消費税等相当額を除く)

用いる算式:(入札価格 > 低入札価格調査基準価格の算式)

$$\begin{aligned} \text{価格点} &= 80 \times \frac{\text{失格価格}}{\text{失格価格} + (\text{低入札価格} - \text{失格価格}) / 10 + (\text{入札価格} - \text{低入札価格})} \\ &= 80 \times \frac{483,390,000}{483,390,000 + (509,240,000 - 483,390,000) / 10 + (510,000,000 - 509,240,000)} \\ &= 80 \times \frac{483,390,000}{483,390,000 + 2,585,000 + 760,000} \\ &= 80 \times \frac{483,390,000}{486,735,000} \\ &= 79.45021 \text{ 点} \end{aligned}$$

2 宇野重工(株)

入札金額 483,390,000 円(消費税等相当額を除く)

用いる算式:(入札価格 ≤ 低入札価格調査基準価格の算式)

$$\begin{aligned} \text{価格点} &= 80 \times \frac{\text{失格価格}}{\text{失格価格} + (\text{入札価格} - \text{失格価格}) / 10} \\ &= 80 \times \frac{483,390,000}{483,390,000 + (483,390,000 - 483,390,000) / 10} \\ &= 80 \times \frac{483,390,000}{483,390,000} \\ &= 80.00000 \text{ 点} \end{aligned}$$

〔入札結果〕

	入 札 者	入札金額 (円)	価格 評価点	価格以外の 評価点	総合評価点
1	JFEエンジニアリング(株) 名古屋支店	510,000,000	79.45021	14.6	94.05021
2	宇野重工(株)	483,390,000	80.00000	9.6	89.60000